

2020 年 10 月 28 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

キャニスター関連技術 特許総合力 トップ 3 は愛三工業、トヨタ自動車、本田技研工業

弊社はこのほど、2020 年 10 月 8 日までに日本の特許庁で公開された「キャニスター関連技術」について、特許分析ツール「Biz Cruncher」を用いて参入企業に関する調査結果をまとめ、レポートの販売を開始しました。

キャニスターとは、ガソリンタンクなどから発生する蒸発燃料ガスが、外部に放出されるのを防ぐ働きを持ちます。今調査では日本の特許庁で公開されている「キャニスター関連技術」全般について、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに、特許の質と量から総合的に見た評価を行いました。

集計をした結果、「総合力ランキング（注 1）」は、1 位 愛三工業、2 位 トヨタ自動車、3 位 本田技研工業となりました（表 1、図 1）。

【キャニスター関連技術 特許総合力トップ 5】

表1

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (最高スコア)
1	愛三工業	1095.1	260	80.3
2	トヨタ自動車	793.8	256	79.1
3	本田技研工業	445.7	139	76.6
4	マツダ	371.2	76	76.0
5	デンソー	356.9	140	77.5

1 位 愛三工業の注目度の高い特許には、「車両に搭載する際の作業を簡単にすることのできる蒸発燃料処理装置」や「機能性を向上させながらもコストを低減することのできるキャニスター」などが挙げられます。

2 位 トヨタ自動車の注目度の高い特許には、「燃料蒸気排出防止システムの異常検出装置」や「蒸発燃料の吸着・脱離性能を向上させたキャニスター」などが挙げられます。

3 位 本田技研工業は「メンテナンス性を高めたキャニスターの取り付技術」「複数の機器の異常判定を短時間で行うとともに、蒸発燃料処理装置による蒸発燃料の処理能力を向上させることができる異常判定装置」などが注目度の高い特許として挙げられます。

4 位 マツダは「蒸発燃料の漏洩抑制と蒸発燃料濃度の学習精度向上とを両立することができる蒸発燃料処理装置」などが、5 位 デンソーは「燃料タンクから吸気通路にページする蒸発燃料量を高精度に制御する蒸発燃料処理装置」などが注目度の高い特許として挙げられます。

6 位以下には三菱自動車工業、日産自動車、フタバ産業などがランクインしています。

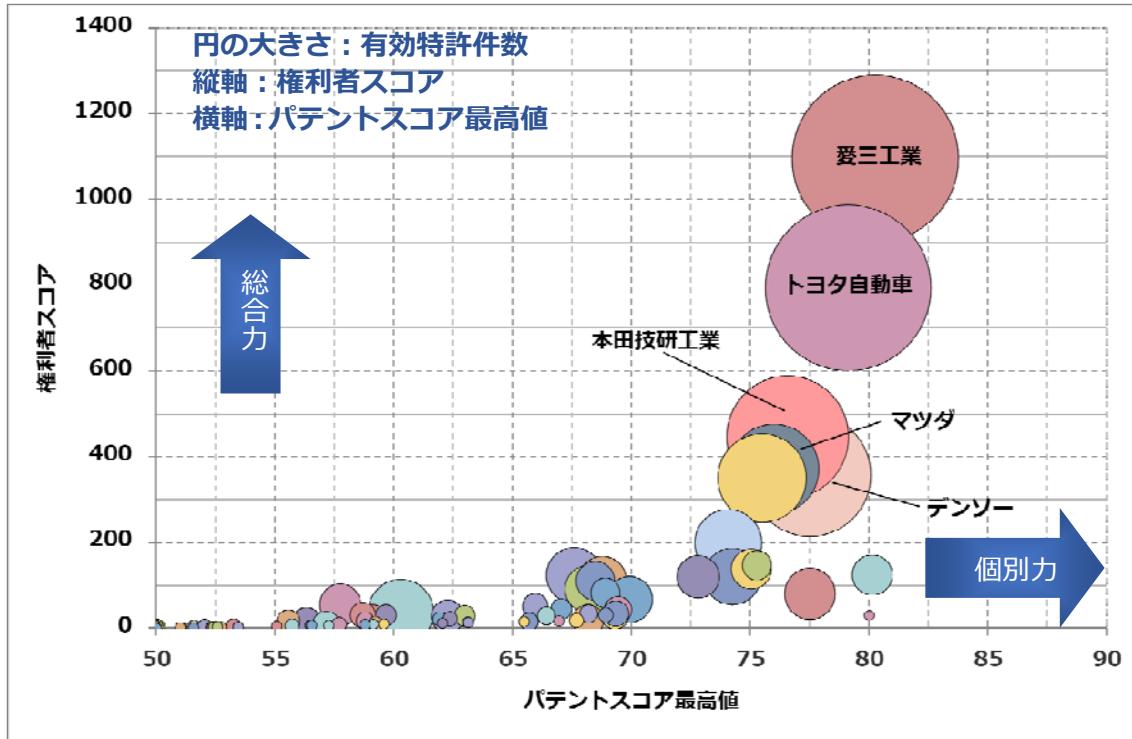


図1

本分析の詳細につきましては、特許・技術調査レポートの「キャニスター関連技術」にてご覧いただけます。

(注 1) 総合力の評価では、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を機関ごとに集計し、パテントスコアが 50 点以上のものを合算しています。50 点以上のものだけを集計している理由は、パテントスコアが低くても特許件数が多いことによって総合力が上がってしまうことを防ぐためです

【調査対象の特許群について】

1993 年から 2020 年 10 月 8 日までに発行された特許が対象。公開、登録、公表、再公表のすべてが対象で、登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

【価格】

内容	価格(税抜)	納期
特許・技術調査レポート	10万円	5営業日
個別企業分析 (レポート追加オプション)	1～5社まで (社数に関わらず同一価格)	+ 20万円
	6社目以降、1社当たり	+ 4万円

※個別企業分析の対象企業は、特許総合力上位企業または任意にご指定可能です。

※レポートは弊社データベースにおける最新の収録範囲に基づき作成致します。そのため、ご発注のタイミングによっては上記ランキングと順位、値が異なる可能性があります。

【納品形態】

冊子1冊。CD-ROMにレポートのPDF、分析に使った特許リスト(Excelファイル)を収録。レポートの収録内容およびサンプルは下記のリンク先をご参照ください。

<https://www.patentresult.co.jp/report/index.html>

<< 本件に関するお問い合わせ先 >>

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580、Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>